

日本農業気象学会2007年度第2回理事会議事録

日 時：2007年12月14日（金）13:00～17:30

場 所：東京大学農学部7号館A棟7階717号室（東京都文京区弥生1-1-1）

出席者：大政，小林，横山，田中，荊木，小沢，北野，沖，松岡，朝倉，
大野，宮田，大原，青木，蔵田，富士原

欠席者：平野，皆川，後藤，井上，町村，脇水，王，渋谷，菅谷，清野，
早川

[議事録確認]

1. 2007年度第1回理事会議事録報告（宮田，資料1）

承認された。

[報告・連絡事項]

1. 日本農学賞受賞候補者の推薦審査経過と今後の対応（大原）

学会賞審査委員会より候補者の推薦は不相当とする旨の報告が成されたが，委員会内での意見集約方法の一部は不適切であったとする意見があった。2008年6月以降の理事会で次年度以降の対応方法を審議し，今年度は審議未了とする。

2. 日本農学会運営委員会（富士原）

平成19年度第2回日本農学会運営委員会について報告があった。次回の日本農学会評議員会は2008年1月に開催され，評議員の役割および運営委員会常任委員の新設等について議論される予定である。

3. 日本農学会平成20年度評議員，運営委員および会員数調査（富士原）

本学会からの評議員に蔵田会長，運営委委員に富士原理事を届け出た。会員数は2007年10月末現在の924名を報告した。

4. 日本農学会加盟学協会における問題点および政府・学術会議への要望調査（富士原）

会長と副会長が対応し，小規模学協会への財政支援を要望する旨の意見を回答した。

5. 農林水産技術会議事務局依頼の農林水産研究に関する研究シーズ提案（富士原）

大原理事が対応し，若干数の研究シーズを回答した。

6. 2007年度予算執行状況（朝倉，資料7）

予算執行状況は予定通りである。会費未納者が多いため督促郵便を発送する。

7. 会員の入会・異動・情報フォームの統一（朝倉，資料2）

シルバー会員の追加を機にフォームを資料2の通りとする見直し案が提示された。

電子メールアドレスの記入を促す文言を加えるとともに，個人情報公開

の可否を確認していない会員については、名簿掲載の可否を問う方法を会計理事が検討して対応する。

8. 2006年度日本農業気象学会賞（論文賞）受賞者の追加（宮田）

2006年度の対象論文の著者からの意見を受け、編集委員会、学会賞審査委員会と協議のうえ共著者を受賞者に加えることとし、共著者に表彰状を送付した。

今後も著者全員を受賞者とするとともに、共著者が非会員の場合でも受賞者とし、その共著者には入会を呼びかける。

9. 学会賞受賞者推薦（宮田（学術賞・普及賞・功績賞）、資料3；小林（論文賞・奨励賞））

学術賞4件、普及賞0件、功績賞0件、論文賞0件が推薦されており、また奨励賞1件が編集委員会によって推薦されている。

10. 学会賞受賞者選考状況（宮田、資料3）

現在審査中であり、12月末までに審査が完了する予定である。

11. 永年功労会員表彰候補者推薦（宮田、資料3）

支部より7件、本部より1件が推薦されている。

12. 永年功労会員表彰候補者の選考状況（宮田、資料3）

現在審査中であり、1月中・下旬までには審査結果が会長に報告される予定である。

13. 農業気象編集・発行状況（小林・松岡、資料11）

論文投稿状況が報告された。本部記事の公表形態について、大会開催案内などの全会員に周知する必要のある記事は「農業気象」に掲載する。大会資料や理事会議事録など、会員が必要に応じて利用する記事は学会HPに掲載する。全会員に周知する必要のある記事の判断は、総務・庶務理事が行う。

14. 農業気象の印刷・発行経費削減に関する検討状況（小林、資料11）

資料に沿って検討状況が報告された。編集・発行業務委託会社の変更について、編集委員会の移行案を基本的に了承することを確認した。

15. 生物と気象の学会ホームページへの掲載状況（小林、資料11）

資料に沿って論文投稿状況が報告された。

16. 学会のあり方委員会報告（大政）

学会の支部・各種委員会長が選出した者で委員会を構成した。幹事、庶務を決定した。また、意見交換用の掲示板を立ち上げた。

17. 2008年全国大会（山口大会）進捗状況（荊木、資料10）

資料に沿って準備状況が報告された。また、申し込み状況について、全国大会は発表84件、参加120名、国際シンポは発表114件、参加110名であることが報告された。

18. 学会ホームページへの記事掲載手続きの変更（富士原）

今後、掲載の可否判断が不要なものは渋谷理事にメールで依頼し、同報で総務・庶務理事に通知する。可否判断を必要とする内容の場合は、

総務・庶務に問い合わせる。

19. 学会ホームページ掲載記事（富士原）

ホームページの活用を促す案内用紙が63巻4号に挟み込まれ、その中に記載されている旨、説明があった。

20. 学会ホームページ案内のための農業気象12月号への案内用紙挟み込み（富士原）

渋谷理事が用意したホームページの活用を促す案内用紙が63巻4号に挟み込まれている旨、説明があった。

21. 日本農学会による学会ホームページ維持管理作業担当者の異動（富士原）

学会ホームページの運営を委託している（財）農学会において担当者が今年度末で交代する連絡を受けた。

22. 日本地球惑星科学連合評議員の代理の選定（富士原）

評議員は蔵田会長とし、会議等へ出席する代理は鳥谷会員に依頼して了承されている。

23. 日本地球惑星科学連合第6回評議会（蔵田）

連合は法人化を目指しており、会員は加盟学協会会員と個人会員の二本立てで進められている。

24. 共催・後援（宮田，資料3,4）

資料に沿って報告された。

25. フェデレーション（農業環境工学系学会連盟）関係（蔵田，青木）

12月2日に開催された会合において、2009年以降の合同大会の在り方は次回の会合で検討されること、および2007年（5学会）合同大会では参加者748名、発表数576課題であったこと、合同大会開催に対する各学会からの分担金（当学会は50万円）に加えて、収支が黒字であったことから分担金に応じた金額（当学会は75,000円）が還元されたことが報告された。

26. 広報・企業担当委員会（青木）

SENSOR EXPO JAPAN（2008年4月23日～25日）にてセミナーを開催する予定である。

27. Web版センサハンドブック（青木）

この間の進捗はない。担当者として小沢理事および横山仁会員を加える。また、理事の中からさらに若干名を追加することも検討している。

28. J-STAGE オンライン審査システム（荊木）

農業気象の査読にJ-STAGEのシステム（試行中のシステム）の採用を検討中であり、システム設計への要望を提出した。このシステムは来年中の運用開始を目指している。

29. 学術会議関係（青木）

「農業と環境」分科会より屋上緑化に関する対外報告書を提出し、学術会議より認められた。この対外報告書は印刷物として公開されている。

[審議事項]

1. 日本農学会次期会長・副会長候補者リスト作成のための推薦（富士原）
会長に一任した。
2. 決算・予算案の作成・討議の日程及び来年度会計年度の変更（朝倉，資料5）
会計年度は3月1日から2月末日までであり，次の総会（2008年3月）までの期間は短い，例年通りに進める。今後は継続的に春季に大会を開催し，そこで総会を行う。このため，2008年度以降は会計年度，事業年度とも，1月1日から12月31日までへと変更することを次の総会（2008年3月）で提案する（2008年度は3月1日から12月31日）。
3. 予算案の方針（朝倉，資料7）
次の総会までに理事会は開催されない，総会前に予算原案を理事会メンバーにメールで送信し，理事会の承認を得る。
4. 国際シンポジウム論文審査に関する編集委員の補充（荊木，資料8）
編集委員の補充に関する編集委員会の提案を承認した。
5. 日本農業気象学会・日本農業気象学会関東支部合同集会開催方式・日時（沖，資料9）
「日本農業気象学会シンポジウム・日本農業気象学会関東支部合同集会」へと名称を修正する。他支部からも参加可能である。会期は2008年11月6日～7日，会場は文部科学省研究交流センター（つくば市）。
6. 学会賞等受賞者の副賞等（宮田）
賞牌は例年通り必要数を発注する。奨励賞受賞者にも記念品を授与することとし，記念品の選定は庶務理事に一任する。学術賞・普及賞受賞者および新規永年功労会員は大会懇親会に招待する。また，授賞関連担当庶務理事の必要性が説明され，適任者の選任を進めることとなった。
7. 本学会紹介用展示パネル作成担当者の選定（宮田）
「生物と気象」の表紙を活用する案を基本に，広報・企業担当委員会で検討する。
8. 日本農業工学会事務局の受け入れの可否（宮田，資料3，6）
現段階では目処が立たない旨を回答する。
9. 学会名称について
2008年全国大会（山口大会）の期間中に学会名称検討のための理事会を開催する。荊木理事が後日，理事会開催日時を提示する。
10. その他
本部のホームページに支部会誌の記事や支部のお知らせを掲載する件

について，どのような形式にするかをホームページ担当理事と協議し，支部長と支部連絡先に通知する。

[その他]

1. 2007年度第3回理事会の開催予定

学会名称検討のための理事会を2007年度第3回理事会とする。